

## 2 事業の概要

### < 2009 年度学生募集結果 >

#### 学部（詳細別紙）

のべ志願者数は 1,518 名で昨年比 142%と大幅にアップした。増加率は、全国の私立大学の中でも際立っている。2つの新学科を設置（入学定員 40 名増）し、しかも学科間の併願を認めたことが最大の増加要因である。また、実志願者数も約 100 名増加し、一昨年の水準まで回復した。ようやく、志願者減少傾向に歯止めをかけることができた。

#### 大学院（詳細別紙）

博士課程前期課程の入学者数は、33 名で本年も入学定員を上回った。また、博士課程後期課程の入学者は、3 年目にしてはじめて入学定員を確保することができた。これは、本年はじめて本学の博士課程前期課程の修了生が出て、その中から、後期課程に進学した学生が 5 名あったためである。

### < 2008 年度学部卒業者及び大学院修了者の進路状況 >

#### 学部卒業者（第 3 期生）

卒業延期者（留年）は 11 名（昨年 10 名）。卒業者の進路先内訳は以下の通りである。

卒業者数（学位授与数）	218 名
大学院進学者	66 名（本学 31 名、他大学 35 名）
就職決定者	136 名（就職率 97.8% = 決定者 / 就職希望者 139 名）
進路先未定者	16 名（就職未定 3 名、公務員浪人 4 名、大学院浪人 1 名、アルバイト 1 名、就職意志なし 4 名、その他 3 名）

#### 大学院博士課程前期課程修了者（第 1 期生）

修了延期者（留年）は 2 名。修了者の進路先内訳は以下の通りである。

修了者	28 名
博士課程後期課程進学者	7 名（本学 5 名、他大学 2 名）
就職決定者	20 名（就職率 100%）
進路先未定者	1 名（就職意志なし）

### < 当該年度の主な事業計画と進捗状況 >

#### (1) 第二次中期ビジョン計画として、バイオサイエンス学部の新学科を設置することについて

2009 年 4 月の設置をめざして、6 月 26 日、文部科学省に設置申請（届出）を行った。

文部科学省よりアニマルバイオサイエンス学科（入学定員 50 名）とコンピュータバイオサイエンス学科（入学定員 40 名）の設置が許可された。（8 月 29 日）

文部科学省より、学部の入学定員を 40 名増員（198 名 → 238 名）することの認可を受けた。

（8 月 25 日）

学部の入学定員増に伴い、校舎（命北館）の増築と設備増設とを行った。

教員組織編成は年次計画とし、その初年度として 3 名の採用を内定した。（教授 1 名、准教授 2 名）

新学科のみならず既設学科も含めた学部全体のカリキュラム改編に取り組んだ。

#### (2) 教学について

大学院開設 2 年目にあたり、設置申請において明記した教育・研究の諸課題を確実に履行した。

7 月 2 日には、文部科学省より、大学院設置計画履行状況等面接調査を受け、その結果、同省より問題なしとの回答を得た。

大学院に続いて学部においても、今年度より FD が義務化されたので、FD 研修会を行った。

大学全入時代に入り、入学者の学力低下という問題は看過できない。本学学生の学力の維持・向上のために、初年度教育の具体化に向け、担当教員 1 名の採用を内定した。

### (3) 学生（院生を含む）の進路・就職活動支援について

学部生は2期生同様に3期生の就職も好調であった。目標とした100%は実現できなかったが、就職率は97.8%に達している。また、大学院への進学は、卒業生の約30%で、本学の大学院と国公立大学大学院（阪大・名大等）とがほぼ同数であった。

大学院博士課程前期課程は、はじめての修了生だったことから、学部生とは違った支援の難しさがあった。そのため、指導教員および担当事務局による組織的な就職支援・指導を行い、結果的には就職率100%を達成した。

「インターンシップ実習」は88名の学生（学部3回生87名、修士1回生1名）が参加。受入先の54事業所（企業44、公的機関10）へ派遣のうえ実習をおこなった。

「キャリア講座」については、対象学年の学部3回生に対して更なる内容充実を図るとともに、新たに学部2回生を対象に「キャリア基礎講座」を実施した。これにより、低回生のキャリア教育にも重点的に取り組み、09年度からキャリア科目導入を視野に、学生の社会人基礎育成を図った。

### (4) 学生募集と広報対策について

入試・学生課から入試課を分離独立させるとともに、人員増（1名）もはかり体制を強化した。本学への志願者がこの間減少していたので、新学科設置を契機として「学校案内」やホームページなどで、教学の優位性や教育・研究設備の充実と就職および大学院進学実績をあらためて強調した。また、学部の入学定員を増やす好機でもあったため、増やす定員分を確実に確保するために、志願者は何としても前年を上回るように全力を挙げた結果、前年比142%を達成することができた。

新学科設置にともない、その特色や意義を強調した募集広報や新たな入試方式の導入を積極的に行った。また、多様な広報媒体を利用するとともに、各地での説明会参加や高校訪問でのダイレクトな広報も重視し、本学ならではの特色と実績をアピールし、知名度と存在感を高めることに努めた。

理事長が兼務している広報企画実務をプロパーによる専任体制の確立をめざして準備してきたが、適任者がおらず、次年度の課題とした。

### (5) 学生支援について

入試・学生課から学生課を分離独立させるとともに、人員増（1名）もはかり体制を強化した。音楽関係クラブBOXとして、クラブ員がよりよい環境の下で活動できるようにするために旧湖北自動車教習所のスペースを確保した。

サポーター奨学金としてS企業より500万円の寄附を頂いた。年次計画で学部生・院生への支給を開始した。

経済的な理由により学費が支払えない学生に対する支援策として、2名の4回生（就職内定者）に対して、後期学費の貸し付けを行った。

留学生修学サポートプログラムが、私学事業団の特別補助対象に採択されたこともあり、指導員の配置（1名）やチューター制度導入・関連図書（視聴覚教材等）の充実・整備を行うことができた。

### (6) 図書情報センターの利用環境の充実について

外国雑誌（オンラインジャーナル）の新規購読や図書の新規購入を増やして充実を図った。特に大学院や新学科用の購入費を増額した。

前年度に情報教育にかかわる機器のリプレースを行ったので、それに対応するソフトの充実を行った。

(7) 国際交流について

海洋バイオ食医薬事業団（韓国）および釜慶大学校、釜山大学校との学生間研究交流会を引き続き行い、今年度は本学を会場として、学生の研究発表等を実施した、すでに交流実績のある東北大学（中国・瀋陽市）との間で「学術交流に関する協定書」を取り交わした。ただ、目標に掲げた大連理工大学、大連職業技術学院との交流協定締結には至らなかった。

国際交流を成功させるために、担当する専任（半専任）並に事務機能を保証する体制の確立（本学の「大連仮事務所」設置も視野に入れた）をめざしたが、準備不足もあり、今年度中の実現には至らなかった

(8) 施設・設備の充実について

昨年度に購入した湖北自動車教習所跡地については、当面は学生駐車場として利用し、一部は環境コースの実験研究用地として引き続き活用した。なお、未買収の土地（全敷地の4分の1）を買い取る交渉を始めたが、相手方の意向もあり、買収には至らなかった。（交渉は継続）

大学院開設に伴う高度研究設備のための研究機器を4点購入した。（共焦点レーザー走査型顕微鏡他3点）なお、いずれも文部科学省の補助対象に選定された。

グラウンド北側に防球ネットを増設。テニスコートに夜間プレーを可能にするための照明器具を設置。学生・教職員の課外活動・研究活動中の心停止等の緊急時に対処すべく、AED（自動体外式除細動器）を1台設置など。

(9) 公的資金の獲得について

公的資金を効率よく獲得するためには先見性、実効性、選択（選別）性が発揮できる情報収集力を高め、タイミング良く説得力のある補助申請を行うことが求められる。的確な業務遂行のために産官学センターに関係事務を一本化し、その担当職員を1名配置した。これによって事務の効率化をはかることができた。なお、今年度の公的資金獲得件数は44件で総額は約2億円となっている。

(10) 産官学連携につて

長浜サイエンスパークに食品会社の星野科学をはじめ、6社の進出が内定し全区画が埋まった。これによって、本学が開学時の目的とした「長浜サイエンスパーク」の実現が現実のものとなった。本学はこの事業の中核的役割を果たすことになっており、次なる発展のため、地元自治体をはじめ、関係機関と協同してその使命を果たしていくことが重要となっている。

経産省の支援事業である長浜バイオクラスター事業の発展的な事業変更により、関係する補助金給付終了を前提とした「自立化」が求められていることもあり、本学のクラスターマネージャーが担当している業務については、滞りなく遂行した。

2008年度文部科学省大学改革推進事業である「戦略的産官学連携支援事業」において、滋賀医科大学と本学とが共同で申請した「びわこバイオ医療大学間連携戦略」が選定された。バイオサイエンスと医学・看護学の融合した新しいバイオ医療学の創設を目指して、画期的な取り組みが始まった。

(11) 新規事業及び経営企画管理体制の強化について

次年度に新しく2学科を立ち上げる取り組みはほぼ予定通り遂行した。本学が時代と社会のニーズに応じた第二次中期ビジョンの具体化にふさわしい全学の総意と知恵を集めた成果である。しかしながら、私学経営の「危機下」において、新しい事業計画や「経営・管理問題」の改善と刷新に、日常的かつ専門的に取り組んでいくことが引き続き重要となっている。そのために、理事長が兼務している経営企画担当をプロパーの専任配置による経営企画室（経営委員会的なもの含む）の確立に向けて準備をしてきたが、プロパーの適任者を得ることができず、今年度中の確立には至っていない。

(12) 今年度中に学校法人関西文理学園(京都市)との合併をめざして、準備をすすめてきたが、相手方の条件整備に時間を要したため、次年度に繰り延べすることとなった。

### 3 財務の概要

詳細は別紙

# 2009年度 長浜バイオ大学入試結果

2009/3/31 最終

				募集定員			志願者数			受験者数			合格者数			実質倍率			入学確定数		
				2009	2008	2007	2009	2008	2007	2009	2008	2007	2009	2008	2007	2009	2008	2007	2009	2008	2007
指定校特別推薦		推薦入試	(2008/10/26)	20	20	20	16	25	16	16	25	16	16	25	16	1.0	1.0	1.0	16	25	16
		推薦入試	(2008/11/2)	5			3			3			3			1.0			3		
一般公募制推薦	一般公募	推薦入試	(2008/11/29)	20			72	100	240	72	100	239	55	49	119	1.3	2.0	2.0	28	30	54
		推薦入試		8	25	30	38			38			15			2.5			7		
		推薦入試		5			18			18			17			1.1			4		
	専門総合	推薦入試	(2008/11/29)	5			10	10		9	10		8	9		1.1	1.1		5	2	
		推薦入試		2	5		3			3			1			3.0			0		
		推薦入試		3			1			1			1			1.0			0		
	一般公募	推薦入試	(2008/11/30)				56	87		55	87		42	44		1.3	2.0		13	12	
		推薦入試					29			29			11			2.6			6		
		推薦入試					13			13			13			1.2			2		
	専門総合	推薦入試	(2008/11/30)				6	8		5	8		5	6		1.3	1.3		1	2	
		推薦入試					3			3			2			1.5			1		
		推薦入試					2			2			2			1.0			1		
推薦入試 小計				68	50		270	230	256	267	230	255	191	133	135	1.4	1.7	1.5	87	71	70
一般入試	AO入試	推薦入試	(2008/10/12)	10	10		19	19		19	18		14	13		1.4	1.4		14	12	
	前期試験	推薦入試	(2009/1/28)	33			185	234	293	183	227	290	92	146	168	2.0	1.6	1.7	22	47	59
		推薦入試		20	45	43	74			73			35			2.1			9		
		推薦入試		12			41			41			36			1.1			8		
	前期試験	推薦入試	(2009/1/29)				123	131	153	121	127	150	61	70	77	2.0	1.8	1.9	14	25	28
		推薦入試					60			59			28			2.1			6		
		推薦入試			8		32	0		31	0		26	0		1.2			6	0	
	中期試験	推薦入試	(2009/2/22)	20	30	30	125	99	151	117	88	132	51	65	80	2.3	1.4	1.7	24	43	41
		推薦入試		10			54			51			43			1.2			18		
		推薦入試		5			41			39			38			1.0			17		
	シラ利用前期A	推薦入試	(2009/1/17・18)	15			166	177	167	164	175	167	85	128	111	1.9	1.4	1.5	17	27	15
		推薦入試		5	10	5	49			49			22			2.2			2		
		推薦入試		5			15			15			14			1.1			4		
	シラ利用前期B	推薦入試	(2009/1/17・18)	10			94	85	109	94	85	109	64	68	79	1.5	1.3	1.4	12	9	10
推薦入試		5		5	5	46			46			36			1.3			9			
推薦入試		5				24			24			21			1.1			6			
シラ利用中期	推薦入試	(2009/2/17)	10	5		34	41		34	41		23	29		1.5	1.4		3	3		
後期試験	推薦入試	(2009/3/7)	5	5	5	55	40	54	54	34	50	17	16	14	3.2	2.1	3.6	6	11	10	
	追加合格												0	0				0			
一般入試 小計					118	88	1237	826	927	1214	795	898	706	535	529		1.5	1.7	197	177	163
社会人特別	前期試験	(2008/1/29)	若干名			0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	0	
	後期試験	内:コンピュータ 1名 (2008/2/20)				5	0	0	5	0	0	3	0	0	1.7	-	-	2	0	0	
社会人特別 小計					(30)		5	0	0	5	0	0	3	0	0	1.7	-	-	2	0	0
留学生特別	前期試験	内:コンピュータ 1名 (2007/11/25)				2	3	1	2	3	1	2	3	1	1.0	1.0	1.0	2	1	0	
	中期試験	(2008/1/29)				4	7	4	4	7	4	3	6	4	1.3	1.2	1.0	3	5	3	
	後期試験	(2008/3/7)				0	5	6	0	4	5	0	3	4	-	1.3	1.2	0	3	3	
留学生特別 小計				(20)	30		6	15	11	6	14	10	5	12	9		1.2	1.1	5	9	6
社会人+留学生 小計						60	11	15	11	11	14	11	8	12	11		1.2	1.2	7	9	6
全体				238	198	198	1,518	1071	1194	1,492	1039	1164	905	680	675	1.7	1.5	1.7	291	257	239
				前年比												編入学者数					
							141.7	89.7	93.6	143.6	89.3	93.4	130.6	101.0	105.7				7	7	6

# 2009年度 長浜バイオ大学大学院入試結果

2009/3/31 最終

				募集定員			志願者数			受験者数			合格者数			入学確定数		
				2009	2008	2007	2009	2008	2007	2009	2008	2007	2009	2008	2007	2009	2008	2007
前期課程				30	30	30	73	75	35	73	73	35	55	73	35	33	49	32
後期課程				5	5	5	6	1	1	5	1	1	5	1	1	5	1	1
合計				35	35	35	79	76	36	78	74	36	60	74	36	38	50	33

< 参考 >

2009 年度在籍学生数 ( 2009 年 5 月 1 日現在 )

バイオサイエンス学部            1051 名

バイオサイエンス研究科           90 名